



結団式を終え早速からだを動かし学ぶ“きっず”たち

目指せ！未来のスーパースター

子ども劇団「ましきっずプレイヤーズ」始動

町文化会館で2月28日、子ども劇団「ましきっずプレイヤーズ」の結団式が行われました。

この劇団は、「肥薩おれんじ鉄道」の佐敷駅や水俣駅を委託運営するNPO法人「ななうらステーション」の藤井ゆみ理事が、震災を経験した子どもたちに思い切り体を動かし表現してもらうことで心をほぐしてもらおうと設立したものです。参加した渡邊凜さん(益城中央小5年)は「久しぶりに目いっぱい体を動かして、すごく楽しいです」と声を弾ませていました。

みんな大好き、ハローキティ

町内の幼稚園・保育所にみんなの人気者

ひな祭りの3月3日、町内3か所の幼稚園や保育所に、株式会社サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」がサプライズで登場しました。

先生の紹介でキティちゃんが登場すると、室内は「キャー！！」と外まで突き抜けるような大歓声に包まれました。同社に所属する、熊本出身の前田南美さんは、「たくさんの笑顔で迎えていただき、私たちも元気をもらいました。キティちゃんも、みんなのことをずっと応援しています」と話しました。



退場するキティちゃんを名残惜しそうに囲む園児たち



作成された「志賀哲太郎小伝」(左)と真剣に話を聞く参加者

郷土の偉人について学ぶ

「台湾大甲の聖人」志賀哲太郎研修会

3月5日、保健福祉センターで益城町出身の教育者志賀哲太郎氏(故人、田原出身)について学ぶ研修会が行われ、町内外から参加した約100人が、明治から大正にかけて台湾で教育に心血を注いだ同氏の功績と生涯に思いを馳せました。

主催した志賀哲太郎顕彰会は、今回の研修会に合わせて「志賀哲太郎小伝」を作成。事務局の植山洋一さん(市ノ後団地)は、「これから地域のサロンや少人数の研修会などで功績を広めていきたい」と話しました。

Best Smile

今月のベスト笑顔

